

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	音楽療育特化型事業所リズムストーリー西浦		
○保護者評価実施期間	R8年 2月 24日		～ R8年 3月 14日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	28	(回答者数) 15
○従業者評価実施期間	R8年 2月 24日		～ R8年 3月 14日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	R8年 3月 31日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	言葉での表現が苦手な子どもでも、リズム・動き・音で参加でき成功体験が積みやすい。自己肯定感が上がり、活動参加意欲が伸びることで楽しみながら参加することができる。	個人の発達のさが大きく、それぞれの課題を明確にし、音楽遊びの中に取り入れることで、自己肯定感を高め楽しみながら参加できるようにしている。	個人の発達に合わせて、寄り添いながら目標に向けて音楽療育プログラムを調整していきたい。
2	音楽活動を通して順番を待つことや合図で始める/止めるなどの動きをみんなで合わせることで集団参加の練習をすることができる。	事業所で実施している社会性の発達検査の結果から利用者に必要な活動が何か検討して、プログラムの中に取り入れている。子ども達の成長や興味に合わせて内容を工夫している。	楽しみながら参加できるようなプログラムを考えるとともに、プログラム以外でも集団で遊ぶ楽しさを漢字られるよう、取り組んでいきたい。
3	スタッフの専門性が高くそれぞれの得意分野を活かして表現でき、チームでの活動ができること。	音楽療法の手法が発揮されるよう、それぞれの分野の有資格者でプログラムを担当して作りあげている。	職員間での話し合いを行い工夫を重ねながらより楽しんでプログラムが進行するよう努めていきたい。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	父母の会など、保護者間での連携や、地域との交流が薄い気がしました。	事業所と保護者は密にお話しは出来るが、住所もバラバラのため保護者同士の連携が薄い。	もっと地域との連携を密にすることで保護者同士の連携も広げていけるよう努めたい。
2	木のぬくもりのある建物ですが所々柱の出っ張りがあるのでぶつからないよう気を付けたい。	コーナーガードやクッションを付けての対応をしているが、引っ張ってはがしてしまうこともあるのでその都度修正している。	コーナーガードがはがれないよう強気に付けたい。クッションの大切さを伝えはがさないよう注意していく。
3			